



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第8号

令和5年7月24日

1学期が無事に終わりました！

4月6日(木)の始業式から始まった74日間の1学期が今日で終わります。大きな事故や事件もなく、無事に夏休みを迎えることができて、ほっとしております。

社会情勢は、国内外への旅行や会食、イベントの人数等における様々な制限を撤廃し、日常が戻りつつあります。学校の教育活動でも感染予防対策を講じながら、運動会や校外学習、5年生の宿泊学習等の行事を行いました。夏休みには6年生の立山宿泊学習、2学期には学習の発表会を予定しています。また、終業式では子供たちに次の話をしました。



今日で1学期が終わります。大切な節目の日です。自分自身の1学期を振り返ってみましょう。まず、頑張ったことを考えてみましょう。「自分から気持ちのよい挨拶ができた」「授業で自分の考えを発表できた」「友達と仲よく過ごせた」などです。2学期にはさらに頑張りを増やしましょう。

次に、うまくいかなかったことを反省しましょう。「友達が嫌だと思える言葉を使ってしまった」「時間を守って行動することができなかった」「忘れ物をしてしまった」などです。2学期にはそのようなことがないように心掛けましょう。

さて、明日から夏休みです。先生からみなさんに宿題を出します。「夏休みを健康で安全に過ごし、2学期の始業式にみんなが元気に揃うことです」

それでは、2学期の始業式にみんなと出会えることを楽しみにしています。

ご家庭におかれましても、親子で1学期の振り返りをさせていただきたいと思います。そして、有意義な夏休みとなりますよう、ご協力をお願いします。

学習のまとめ・通知表を励みに！！

暑い中、そしてご多忙の中、保護者懇談会に出席いただき、誠にありがとうございました。担任から渡された通知表は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価しています。



日々の学校生活では、通知表で記し切れていない子供たちの個々の頑張りがたくさんみることができました。ぜひ、子供たちの学習意欲を喚起し、2学期からの励みになるよう、お子様と一緒に通知表を基に話し合ってくださいと思います。

大門中学校区健全育成連絡協議会

7月14日（金）、4年ぶりに第1回大門中学校区健全育成連絡協議会が開催されました。この協議会の趣旨は、「校区の小・中学校、地域・関係機関との連携を深め、いじめ防止対策等、思いやり活動を推進し、大門中学校区が一体となって児童生徒の健全育成を目指す」です。参加者は大門中学校・大島小学校・大門小学校の校長、教頭、PTA会長、そして地域振興会長、自治会長、保護司会、民生委員、主任児童委員等、総勢24名でした。開会の挨拶の後、コミュニティー・スクールの説明がありました。各校の学校運営については、校長から説明し、どの学校も児童生徒の育成を担っていく上で、地域との関わりは不可欠であり、関係機関との連携を強めていく必要があることを伝えました。引き続き、大門中学校長より部活動の地域移行について話がありました。

ひと通りの説明後、意見交換となりました。「部活動を平日は学校で先生が指導し、休日は地域の方が指導することで弊害はないのか」「休日の部活動は希望者のみが参加するということなので、友達関係が希薄にはならないか」「地域に移行することで、中学3年生は卒業まで活動できることになる」などについての意見が多く出ました。そして、交通安全については「車を運転していて、横断歩道で子供たちの姿を見て止まってあげると丁寧に会釈をしてくれる。大切なことなので、これからもぜひ学校の方で指導してもらいたい」という意見が出ました。すると、ある委員の方が「毎朝、二口の方を通過して出勤していますが、大門小学校の子供たちが横断歩道で待っていて、止まってあげると、渡り終わった後に必ず振り返って大きな声でありがとうございますと挨拶してくれます。とてもいい気分で行っています」とおっしゃっていました。子供たちを褒めていただいたことが、この上なく嬉しかったです。地域の方々と一緒にこれからも、人間性豊かな大門っ子を育てていこうと決意を新たにしました。



地区別児童会



カルガモ親子



環境チャレンジ10



あいさつ運動

コロナが落ち着き始め、4年目の教育活動がスタートし、本日無事に1学期を終えることとなりました。ひとえに保護者の皆様のご理解とご協力のおかげだと心より感謝しております。まだまだ感染については油断のできない状況下ではありますが、子供たちと楽しい夏休みを過ごしてください。

(校長 阿尾昌樹)